

議案第30号

工事請負変更契約（（都）荒地西山線道路新設改良工事（その3））の締結について

資料1 変更内容及び理由について

1 変更経緯

工事着手時の地元説明会の意見や関係機関との協議を踏まえ、下記のとおり設計変更を行う。（当初請負額 519,200,000 円、変更請負額 577,188,700 円、57,988,700 円の増額）

2 変更内容及び理由

（1）土工 1式（34,483 千円増）

残土の土壌試験を行ったところ、当初予定していた処分地の受け入れ基準（PH）<sup>ペーハー</sup>を超過することが判明し、変更後の処分地までの運搬距離が長くなるため。

（2）仮設工 1式（22,317 千円増）

①覆工・工事ヤード整備工の追加及び支保工、鋼矢板圧入工の変更（14,304 千円増）

地域での説明会で施工計画を説明したところ、現状では千種地域の生活道路として自転車を含めて利用されている通路の幅が狭くなり、緊急時の避難経路としては不適切との指摘があった。そのため、工事ヤードを見直して通路幅を確保するとともに、緊急車両が活動できるよう一部区間に覆工を増工する。

一方で、工事ヤードの見直しに伴い、埋戻し土仮置きヤードの集約を図るとともに、土留設備のうち特殊切梁を採用して中間杭を廃止し、施工性の向上を図ることで仮設賃料の減額を図る。【図1】【図2】（23,627 千円増）

また、当初計画では 13.0m を超える鋼矢板については搬入が困難で、現場で溶接する計画だったが、工事前仮設進入路の整備を追加することにより、18.0m までの鋼矢板が搬入可能となることから溶接箇所を減らすことで工事費の減額を図る。

（溶接箇所：当初 317 箇所、変更 25 箇所、292 箇所減）【図3】（9,323 千円減）

②水替工の変更（8,013 千円増）

過年度の工事で地下水の湧出が確認されなかったため、当初計画では降雨に対応するためのポンプを設置することとしていた。

ところが、今年度施工中の別工事で、大量の地下水が確認されたため、ポンプを増強し導水管を増工する。【図4】

（3）その他（1,188 千円増）

設計照査及び数量精査により増工する。

図 1

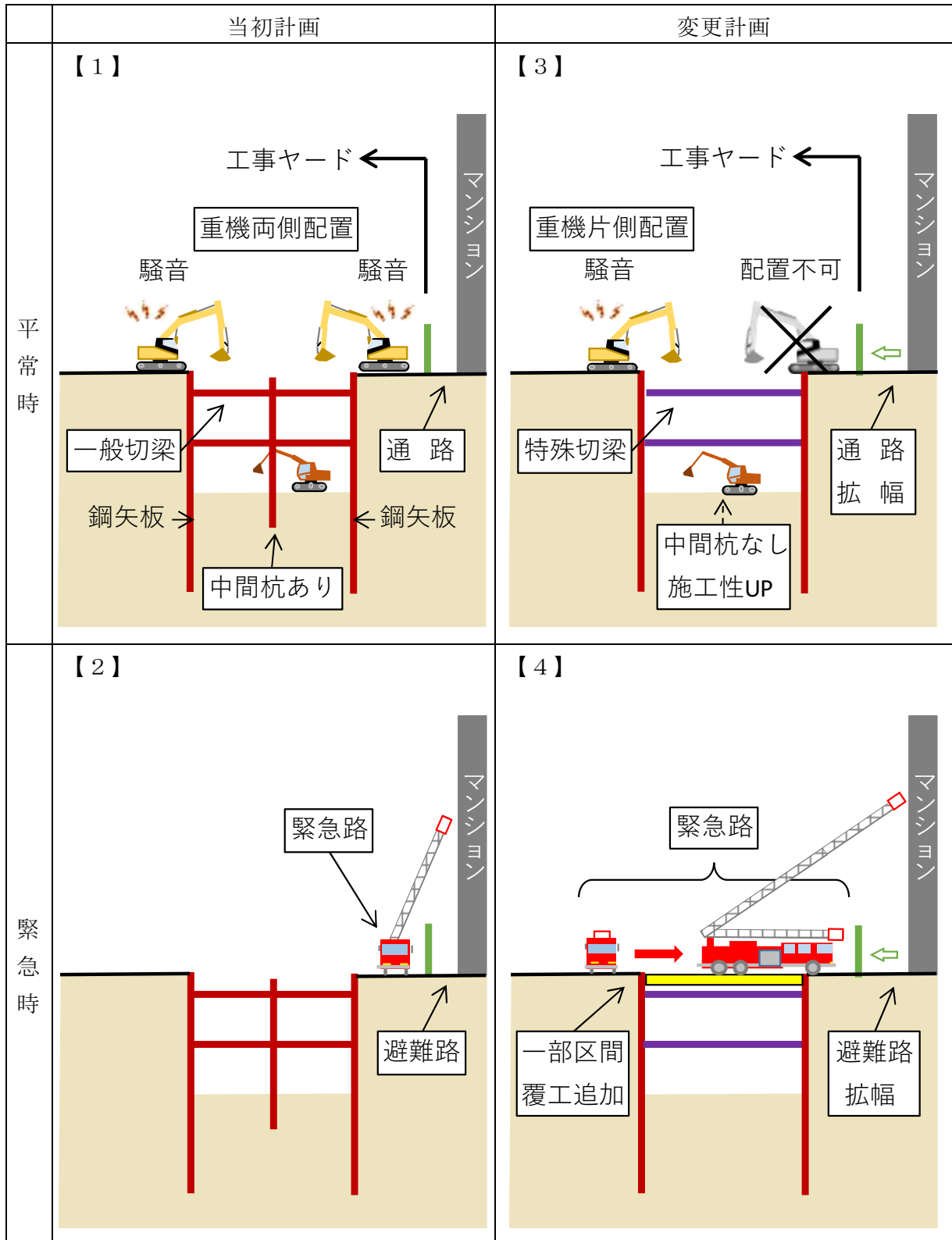


図 2

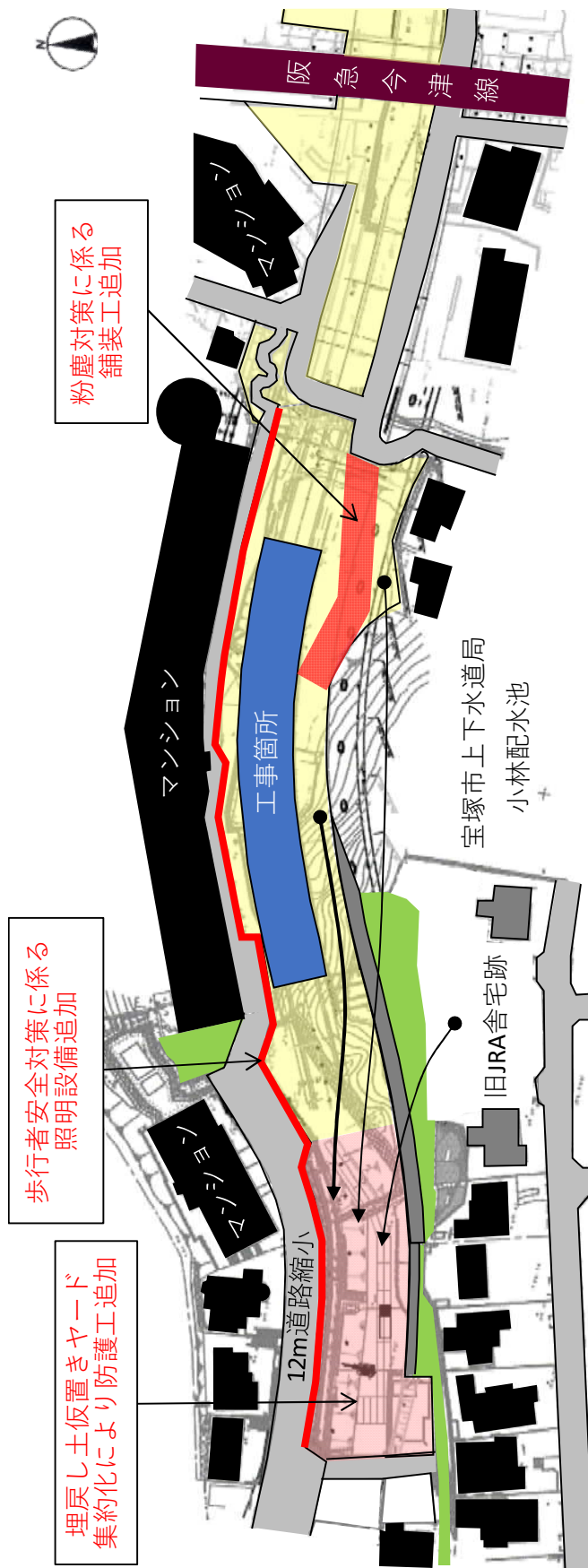
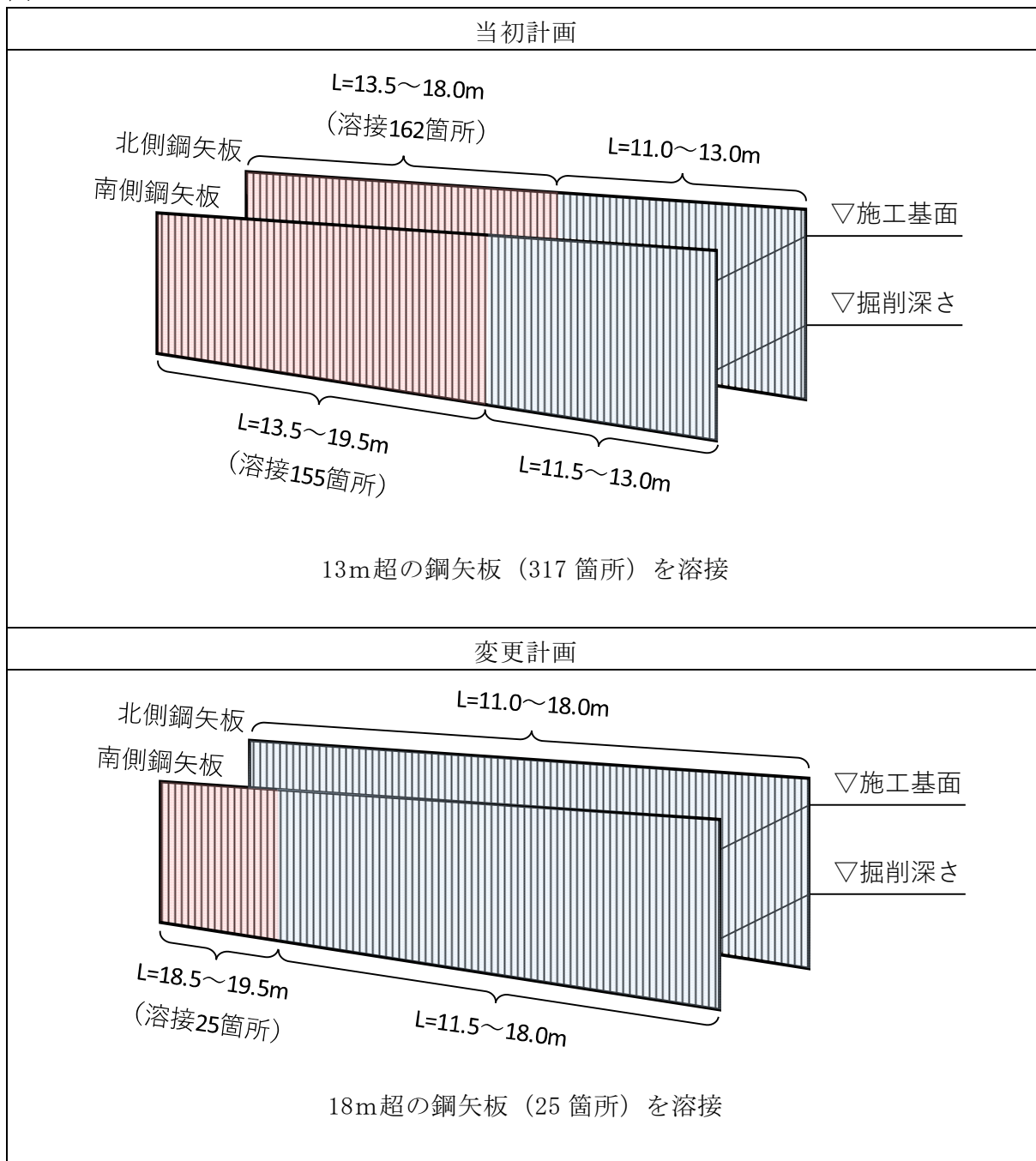


図 3



< 凡 例 >



-  : 現場溶接が必要な鋼矢板
-  : 現場溶接が不要な鋼矢板

図4

